

週刊さんいん学聞

第519号

紙面ガイド

まなぶん2

- おうちで英語
- 絶滅動物
- ニュースまんが

まなぶん3

- わくわくインタビュー
- こぼの宝物
- 心のハテナ

まなぶん1

まなぶん4

- まなぶんクロス
- 投稿ひろば
- 高校入試対策講座

子どもの意見が、暮らしやすい町づくりを後おする一。そんな例が増えています。全ての公立小・中学校に専門の支援員を置いたり、児童館に新たな遊具を

ニュース？
なぜなに

つくったりした例も。子どもたちの声に大人が耳をすませ、大切にしようとしています。なぜでしょうか。

まなぶんクイズ

(6日付紙面から出題)

バスケットボール男子リソナBリーグ1部(B1)の島根スサノオマジックが5日、ホームの松江市総合体育館で今季開幕戦に臨みました。対戦相手を87-56で下し、悲願のB1優勝へ好発進。対戦した相手のチーム名は？

- ①千葉ジェッツ ②レバンガ北海道
③越谷アルファース

(クイズの答えは まなぶん4面)



支援員や遊具設置

兵庫県芦屋市は今年から、学校に行きづらいとったえる子どものために校内で居場所をつくり、学習の進み具合を見守ったり、いじめの相談に乗ったりする「ピースサポーター」を、市内全ての小・中学校に配置しました。きっかけは、不登校を経験した高校生の意

見が市に寄せられたこと。高校生は中学時代にいじめを受けていました。でも「先生たちはいつもいそがしそうで、相談ができなかった」そうです。その声が、周りの大人たちを動かしたのです。

東京都町田市は昨年7月、児童館「小山田子どもクラブゆめいく」に、人工岩をかべに取り付けた「ボルダリング」の遊具をつくり

ました。子どもたちが望んだからです。

これまでも、市は子どもの意見を大切にしてきました。「部活が終わった後に子どもセンターに立ち寄りたい」という中高生の意見を参考に、開所時間を午後9時まで延ばしたこともあります。

子どもに何が必要か

「ゆめいく」の名付け親である高校1年の田中哲大さん(16)は「子どもに何が必要かは、子どもの方がよく知っている」と話します。子どもの声には、大人が見過ぎがちな、よりよい居場所づくりのヒントがかくされているのです。

市には毎年、14歳までの子どもがたくさん引っこして来るようになりました。いろいろな取り組みが実を結び、「子育てしやすい町」という口コミが広がったためとみられます。児童青少年課の菊地仁幸課長は「人口減少の歯止めにつながるのではないかと話しています。

権利を守る組織づくり急げ

子どもの権利を、国や社会がどう守っているかなければならないのかを定めた法律が、「こども基本法」です。2022年につくられました。

多くの子どもたちは、問題があっても「いやだ」と声を上げるのが難しいケースが少なくありません。そこで外国では、子どもの権利がしっかりと守られているかを、第三者が監視する組織があります。国連は、「全ての国に必要な」として、日本でも検討されましたが、今も実現できていないのです。

日本総合研究所の池本美香上席主任研究員は「海外の第三者組織は、子どものうたえを聞いたり、国や自治体の取り組み状況を監視したりするだけではなく、子どもたちの声を分析して国に提案し、その結果いじめ対策が強化されるなど、さまざまな成果を上げています」として、できるだけ早く導入すべきだと話しています。

ピースサポーターのイメージ

学校内の空き教室でピースサポーターが支援



児童館でボルダリングを楽しむ親子
11月9日、東京都町田市

文化

大正末期から昭和初期にかけて活躍した童謡詩人、金子みすゞの詩が世界に広がっています。これまでに英語や中国語など15カ国語に翻訳。詩集や絵本として出版され、各国のはば広い世代に親しまれています。

出身地の山口県長門市にある金子みすゞ記念館によると、みすゞは20歳ごろから童謡を書き、雑

世界で親しまれるみすゞの詩



誌に投稿を始めました。詩人西條八十から「若き童謡詩人の中の巨星」と高く評価され、「大漁」や「こだまでしょうか」など512編の詩を残しました。

外国語訳は1999年の英語をはじめ、ヒンディー語、ペルシャ語などに広がり、2023年にはジョージア語訳も出版。翻訳をきっかけに日本とアメリカ両国では小学生の交流に発展し、ネパールではみすゞの名前が付けられた小学校に、翻訳された詩がかかげられているそうです。

社会

東京と新大阪を結ぶ東海道新幹線が、1日で開業60周年をむかえました。1964年の東京五輪に合わせて完成、世界で初めて時速200km以上で走り、交通の大動脈として経済や国民生活を支えてきました。JR東海は節目を記念し、東京駅などで始発列車の出発式を行いました。

東京駅のホームでは、午前6時ちょうどの出発に

東海道新幹線が開業60周年 1日に



合わせて式典が行われました。JR東海の丹羽俊介社長が「愛される東海道新幹線をつくるべく努力を続けたい」とあいさつ。駅長が合図を送ると、博多行き「のぞみ1号」は警笛をひびかせて発車しました。名古屋駅でも東京に向かう始発列車の出発式があり、母親と訪れた名古屋市の中学1年の男子生徒は「感動した。将来は運転士になりたい」と目をかがやかせていました。

東海道新幹線の60年間の延べ輸送人員は70億人以上のようです。

国際

タイ中部チョンブリの動物園で今年7月に生まれたコビトカバの子どもが、愛らしい姿からブームになっています。名前は、タイ料理のぶた団子を意味する「ムーデン」。インターネットの交流サイト(SNS)の写真や動画で人気となり、外国人観光客も動物園を訪れています。

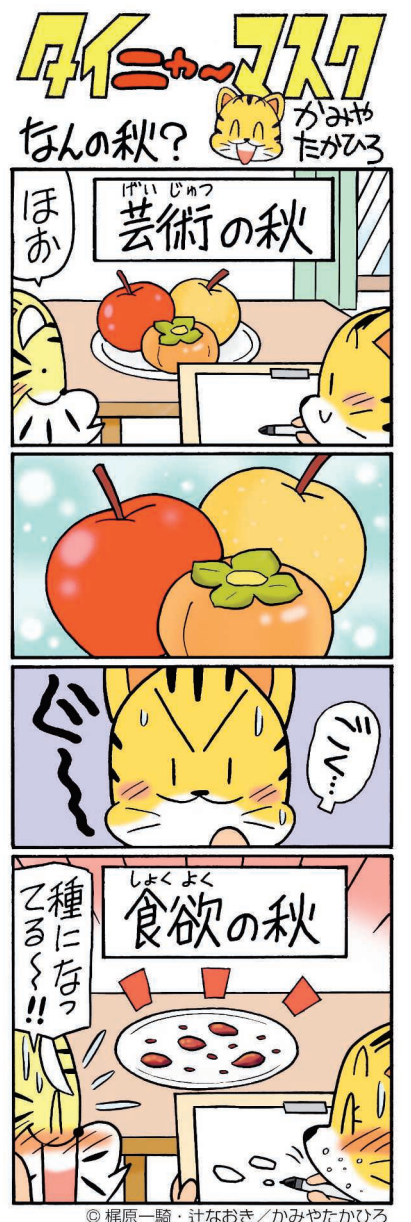
「ムーデン、ムーデン!」。カオキア動物園



母親とふれ合う「ムーデン」
を見守る人々11月9日、タイ・チョンブリ(共同)

のカバが飼われているエリアには連日人だかりができ、子どもたちがカバに呼びかけます。ひょこひょこと歩いたり、泳いだりする姿にも歓声が上がりました。家族で来たロシア人女性は「写真の通り愛くるしい」と笑顔を見せました。

動物園の来場者は平日は4千人、週末は1万人になり、ムーデンが人気を集める前と比べて2倍に増えました。職員は「動物園のスターになってくれた」と喜びました。



秋の夜長に

みんなが「もう秋だな～」と感じるのはどんな時？暑さがやわらいで、木の葉が赤や黄に変わったのをながめながら外を散歩するのも、気持ちが良いよね。

「秋の夜長」という言葉があるように、日の入りの時間が早くなって夜が長く感じられる季節。夜でも本を読んだり、音楽を聴いたり、リラックスできる過ごし方を見つけて楽しんでみてね。

山陰中央新報製作センター見学施設
しんぶん学聞館

山陰中央新報の見学施設「しんぶん学聞館」(出雲市斐川町上庄原)は、展示コーナーや設備の見学を通して、紙面作りや印刷の仕組みを学ぶことができます。

山陰中央新報を印刷している「山陰中央新報製作センター」に併設され、大型ディスプレイで映像を見られる視聴覚ホール、過去の大きなニュースを伝えた紙面をはじめとした各種展示コーナーなどがあります。月曜日から金曜日まで(祝日を除く)見学を受け付けています。



重要ニュース紙面展示コーナー

山陰中央新報や前身の新聞は、140年以上にわたって国内外のさまざまな出来事を報じてきました。竹下登首相の誕生、くにびき国体、山陰地方を襲った災害などを伝えた紙面を展示しています。

カラー印刷の
輪転機模型

カラー印刷の仕組みを輪転機の模型で解説します。模型は高さ1.8メートルで、4色を印刷するローラーが上下に並んでいます。ローラーの回転に合わせて紙が動き、4色を重ねて印刷する仕組みを理解してもらいます。

主な展示・設備

- 1階
● 創刊号パネル
● 記念日新聞コーナー
● 重要ニュース紙面
● 活字など印刷資料
● 巻き取り紙
● 多目的ホール
● 活版印刷機

見学について

時間	月一金曜日(祝日除く) 午前10時～午後2時半
人数	1日2団体まで 1回の来館者は40人まで
内容	館内見学、新聞教室
予約	電話で受け付け (平日午前9時～午後5時)

- 2階
● さんさんホール(188台ディスプレイ設置)
● 組版体験コーナー
● 輪転機模型
● インキ

予約・問い合わせ先

山陰中央新報
製作センター
(出雲市斐川町上庄原1318)
電話 0853(73)9331